

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

旧年中は格別の御愛顧に預かり誠にありがとうございました。

本年も変わらぬご厚誼のほど宜しくお願い申し上げます。

この新しい年が皆様にとって幸多きものとなりますこと

を心よりお祈り申し上げます。



令和2年1月

株式会社銭形企画 株式会社銭形

代表取締役社長 上野 眞司

## 訪問介護銭形で再発進！

去る12月1日、銭形企画訪問介護事業所とLet'sゼニガタは、昨年新たに設立した株式会社銭形を運営会社とする『訪問介護銭形』に生まれ変わりました。銭形企画訪問介護事業所は平成12年から、Let'sゼニガタは平成15年から、株式会社銭形企画の主力事業であるホームヘルパー派遣の事業部門として歩んで参りました。これまでたくさんのご利用者様と出会い、地域の医療や福祉を支える関係機関の方々にご指導をいただきながら、数多くの経験を積ませていただいたことで、地域の皆様から親しみをもってご用命をいただける事業所となることができました。

これまで慣れ親しんだ事業所名を変えることには、一抹の寂しさもありましたが、これまで私たちが一番の強みとしてきた介護保険と障害施策の制度の枠を超えたサービス対応力や、幅広い世代へのサービス経験をより強く打ち出すべく、制度ごとに分かれていた名称を統一化し、また、ヘルパーの別の呼び名として一定認知度の高い「訪問介護」を冠することで、シンプルかつ明快な事業所名を新たに決めました。

訪問介護銭形は、これまで株式会社銭形企画が長年にわたり培ってきた皆様からの信頼を礎としながら、今後も地域が抱える介護・福祉の課題に真正面から挑戦し続けることで、少しでも地域社会の発展に貢献していければと考えています。



## ぜにがた旅行 2019 in 赤穂&姫路

いよいよ今年も残すところ僅か。遂にみなさんお待ちかねの『ぜにがた旅行』の日がやって来ました。今回の旅先は兵庫県赤穂市と姫路市。ここ数年は遠方が多かったのですが、今回は敢えて“近場でゆったり”をコンセプトに旅程を組み立ててみました。

12月10日(火)午前10時30分、マイクロバス2台、リフト付きワゴン車1台に総勢28人が乗り込み、デイサービス銭形を出発。1日目は、赤穂市にある『忠臣蔵』で名高い大石神社を観光し、今回の宿泊先である赤穂温泉『かんぼの宿赤穂』に向かうスケジュールです。京都を出た車は1時間ちょっとで山陽自動車道三木サービスエリアに到着。ここで30分程度休憩して、再び車を走らせること1時間ほどで大石神社に到着です。大石神社では本殿を参拝した後、境内にある義士資料館や義士宝物殿を見学しました。主君の仇討ちの為に命を散らした侍の生き様に思いを馳せながら、皆さん展示物を食い入るように見ていらっしやいました。大石神社を後にした一行は程なく『かんぼの宿赤穂』に到着しました。

かんぼの宿の中でも海の眺望が素晴らしいことで知られる『かんぼの宿赤穂』ですが、大浴場からの眺めはまさに絶景と言った感じで瀬戸内海が一望できます。宿に着いたみなさんはさっそく大浴場へ。ガラス壁の向こうの海を眺めながらゆったりと湯船に身を委ねておられました。

温泉で体を癒した後は、ぜにがた旅行恒例の大宴会です。おいしそうな料理がテーブル上を彩るなか、こちらもぜにがた旅行の定番、豪華船盛が運ばれてくると、これぞまさに慰安旅行といった様相です。

利用者さんもスタッフもカラオケで十八番を大熱唱。スタッフのコミカルなダンスパフォーマンスに皆さん大爆笑。当日、御年95歳の誕生日を迎えられた利用者さんへのサプライズもあり、大宴会は笑いあり涙ありの大盛り上がりのうちにお開きとなりました。



12月11日(水)、バイキングで朝食を済ませた一行は、集合写真を撮り、例年より遅めの10時30分に宿を出発。車を走らせること約1時間で2日目の目的地、姫路城に到着です。「白鷺城」の愛称で知られ、日本初のユネスコ世界文化遺産に登録された姫路城は、平成21年から平成27年にかけて大天守保存修復工事が行われていたため、以前、姫路市にある塩田温泉を訪れた際には立ち寄れなかった、ぜにがた旅行にとってはまさに悲願の地です。今回、車いすの利用者さんが多く入城はできませんでしたが、それでも白亜の勇姿を間近に望むことができました。ご城下にはたくさんの土産物店や飲食店が立ち並び、一行はそこでお土産を買ったり、ご当地グルメに舌鼓を打ったりして、日本を代表する観光地ならではの旅情を満喫されていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎゆくもので今回の旅も終わりです。帰りのバスの中で、昨日95歳になられた利用者さんに「また来年も参加して頂けますか?」とお尋ねすると、「生きとったらな!」と笑顔に答えてくださいました。必ず来年も再来年もお誘いしますからお元気でいてくださいね。



## デイサービス銭形は紅葉狩り

デイサービス銭形では、11月下旬から12月上旬にかけて紅葉ドライブにお出かけしました。京都市は、嵐山・高雄ドライブウェイ・山科の毘沙門堂、滋賀県は、大津サービスエリアの展望台・高島市マキノ町のメタセコイヤの並木道を訪れました。今年は紅葉が遅く例年より長く楽しめたこともあり、様々な名所を巡り、晩秋のその土地ならではの素晴らしい景色を観ることができ、ドライブに参加された皆さんは大満足のご様子でした。令和という元号にも表現された優美な日本の四季。その中でも紅葉の風景はとりわけ心に染み入ります。凜とした空気のなかで紅に染まった木々を眺めていると、なぜか心が温まったような気持ちになります。厳しい冬に向かう前の束の間の穏やかなひと時を、ご利用者の皆さまにも堪能していただけたのではないのでしょうか？ デイサービス銭形では、今後も四季の移ろいを感じていただけるお出かけを企画していきたいと思っています。 (執筆：田村祐樹)



## “スーパーこまち”のクリスマス会

12月21日(土)に、今年の締めくくりとして親子参加のクリスマス会を開催しました。9月に完成した新しい“スーパーこまち”(子どもたちがそう呼んでいる。)での初めての開催ということもあり、たくさんの方々にご参加いただけるよう二部制で行いました。

まずはおやつとジュースでクリスマスパーティーが開宴です。代表の児童に「乾杯の音頭」をとってもらい、みんなで乾杯です♪中には各テーブルを回って全員と乾杯をする児童も♪大人の姿をよく見ているものですね(笑)。

続いてクリスマス工作として『スノードーム』づくりをしました。大好きな動物の人形と色とりどりのスノープォウダーを選ぶ子どもたちの目はキラキラと輝いていました。難しい所はおうちの方に手伝ってもらい、子どもたちは世界に一つだけのスノードームを完成させていました。その後はおもちゃが当たるビンゴゲームです。数字を読み上げると、「あつたー！」と飛び上がって歓びの声を上げる子もいれば、なかなか自分のカードの数字が出ずに「全然で一へん。」と嘆く子もいましたが、最後はみんな意中のおもちゃをゲットして大満足の様子でした。

クリスマス会のフィナーレは、こまちよりささやかながらのクリスマスプレゼントとして、1年間の活動の様子を映したDVDを上映しました。こま치의屋内や外出先での懐かしい思い出、退職した大好きな先生の登場などなど、スクリーンに写真が映し出されるたびに「〇〇くんや!」、「おれや!」、「ここ行ったなあ。」と大きな歓声が飛び交い、みんな大盛り上がりでした。

私たち職員としては、少しの時間でしたが、保護者の方々に普段おうちでは見ることのないこまちでの児童の姿を見ていただき、また、保護者の方々と児童の成長を分かち合えたことで、じんわりと心が温まる時間を過ごすことができました。今回も年末のお忙しいなか、保護者の方々には多くのご参加をいただき本当にありがとうございました。 (執筆：鈴木登紀子)



## 令和元年（平成31年）の銭形ニュースランキング

平成から令和への改元の年、銭形企画は『改革』をスローガンに様々な事に取り組みましたが、令和元年は私たちにとってこれまで経験したことがないほど変化の多い1年だったように感じます。そこで昨年、銭形企画で起こった出来事をランキング形式でご紹介します。

- ① **第1位 銭形企画新館が遂に完成!!（9月）**
- ② **第2位 ホームヘルプ事業部 ケアマネ事業部 児童福祉事業部（こまち）が新館に引っ越し!!（9/22）**
- ③ **第3位 『銭形企画訪問看護ステーション CoCo（ここ）』堂々オープン!!（1/1）**
- 第4位 新会社『株式会社銭形』を設立（8/23）**
- 第5位 （株）銭形を新たな運営会社とする『訪問介護銭形』が誕生!!（12/1）**
- 第6位 改元にあやかってデイサービス和（なごみ）から『デイサービス銭形』へ改名!!（10/1）**
- 第7位 『ぜにがた旅行』でなんと95歳の誕生日をお祝い!!（12/10）**
- 第8位 『ぜにがたまつり』初の秋開催でも大盛況!!（9/8）**
- 第9位 「令和元年度 京都市輝く地域企業表彰」を拝受（12/16）**
- 第10位 「レジリエント・シティ京都 防災功労特別表彰」を拝受（10/15）**

今年の銭形グループのスローガンは、『成長』と『チャレンジ』です。令和という新たな時代を迎え、私たちは銭形企画のこれまでの20余年の経験を基礎としながら、今後も地域の皆様から必要とされる事業者として、また、介護福祉のプロ集団として有り続けられるよう、常に成長とチャレンジを追い求めてゆきたいと考えます。いつか京都 No.1 の在宅介護福祉企業となるために。



『銭形通信 Vol.42 冬号』

発行元：(株) 銭形企画 〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町594番地33

TEL075-353-4899 (代) FAX075-276-5195 URL：<http://www.zenigata-kikaku.jp>

編集：上原啓輔 田村祐樹 山本和夫 鈴木登紀子